

会社説明資料

株式会社アルプス技研 2017年12月期 第2四半期

— 東京証券取引所市場第一部 証券コード：4641 —

正社員の技術者派遣会社です

説明のポイント

【2017年度 第2四半期決算概況】

P3～P9

16年2Q業績を上回る業績で推移

【2017年度 連結・個別施策】

P10～P13

目標達成に向け、施策を推進

【2017年度 業績・配当予想】

P14～P16

創業50周年に向け挑戦・スピードアップ

【中期経営計画】

P17～P20

17年～19年 中期経営計画

- ・外部環境は自動車好調の一方、引き続き為替の影響を注視

製造業界

輸出動向

持ち直し

自動車業界動向

国内生産の伸び
為替変動

人材業界

派遣要請

堅調な要請
高稼働率

人材獲得競争

激しい競争
技術者派遣への参入増加

■ 2017年第2四半期 決算概況

稼働人数・単価の伸びが業績を牽引

(単位：百万円)

【連結】	2016年12月期 第2四半期	2017年12月期 第2四半期	増減率
売上高	12,326	14,516	17.8%
営業利益	1,255	1,433	14.2%
経常利益	1,304	1,438	10.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	818	907	10.9%

(単位：百万円)

【個別】	2016年12月期 第2四半期	2017年12月期 第2四半期	増減率
売上高	10,961	12,157	10.9%
営業利益	1,171	1,324	13.1%
経常利益	1,281	1,481	15.6%
四半期純利益	816	1,013	24.1%

営業利益率は9.9%で着地

(単位：百万円)

【連結】	2016年12月期 第2四半期	2017年12月期 第2四半期	増減率
売上高	12,326	14,516	17.8%
売上原価	9,197	10,906	18.6%
売上総利益	3,128	3,609	15.4%
販管費	1,873	2,175	16.1%
○売上高販管費率	15.2%	15.0%	-0.2%
営業利益	1,255	1,433	14.2%
○売上高営業利益率	10.2%	9.9%	-0.3%
営業外収益	65	52	-19.0%
営業外費用	15	48	207.7%
経常利益	1,304	1,438	10.2%
特別利益	3	0	-84.5%
特別損失	0	63	24394.6%
税引前四半期純利益	1,307	1,374	5.1%
四半期純利益	818	907	10.9%
○売上高四半期純利益率	6.6%	6.2%	-0.4%

主な要因

■処遇改善に伴う原価増
■販管費率の低下

①単価上昇

P.6へ

②技術者数増

P.6へ

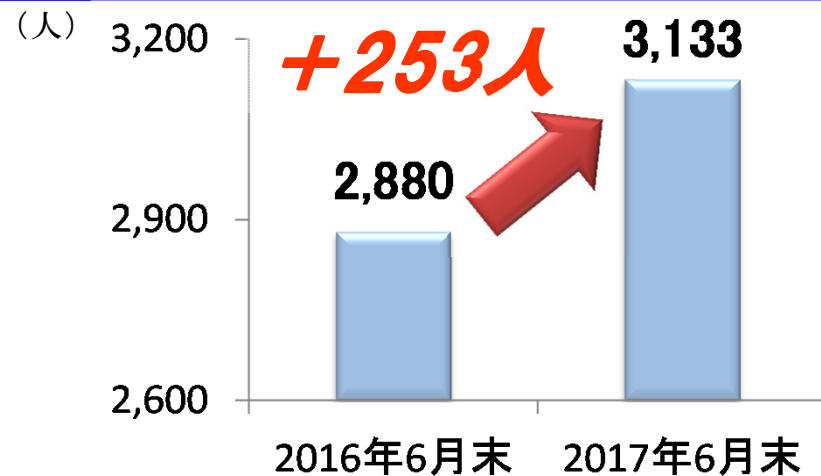
③稼働率維持

P.7へ

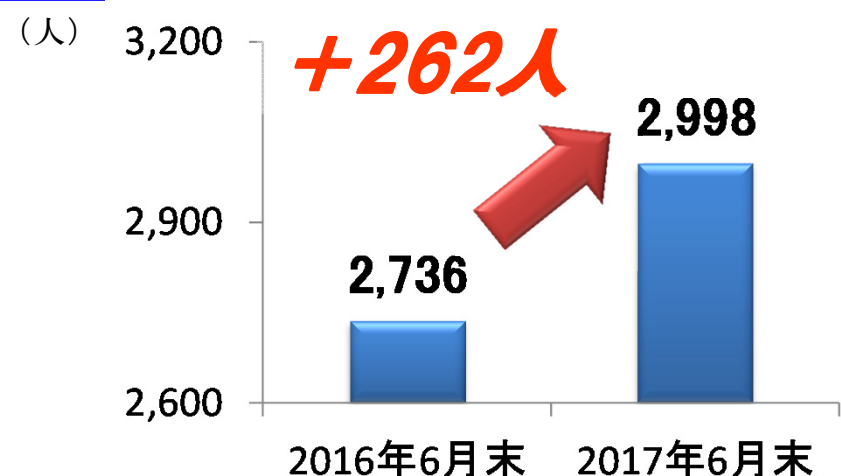
④販管費率抑制

技術者3千名超過/工数は減少

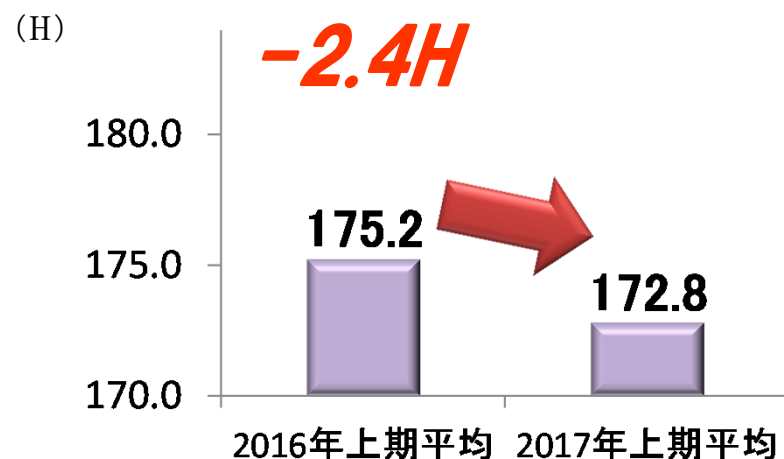
技術社員数 ※2017年6月末時点



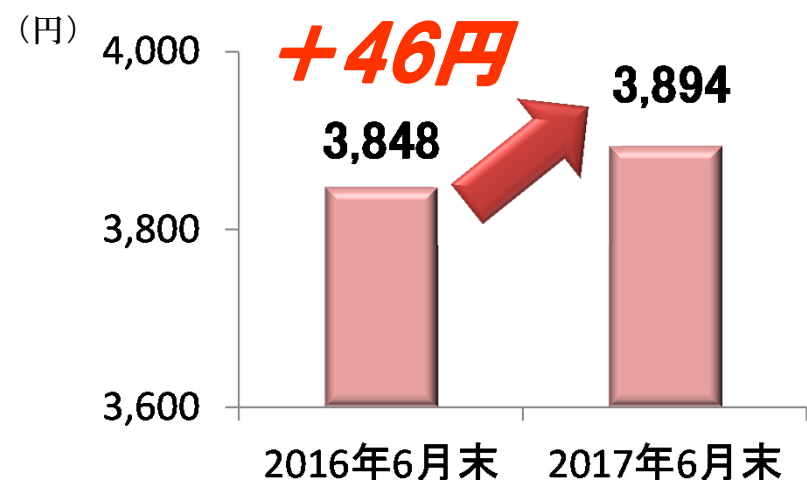
稼働人数 ※2017年6月末時点



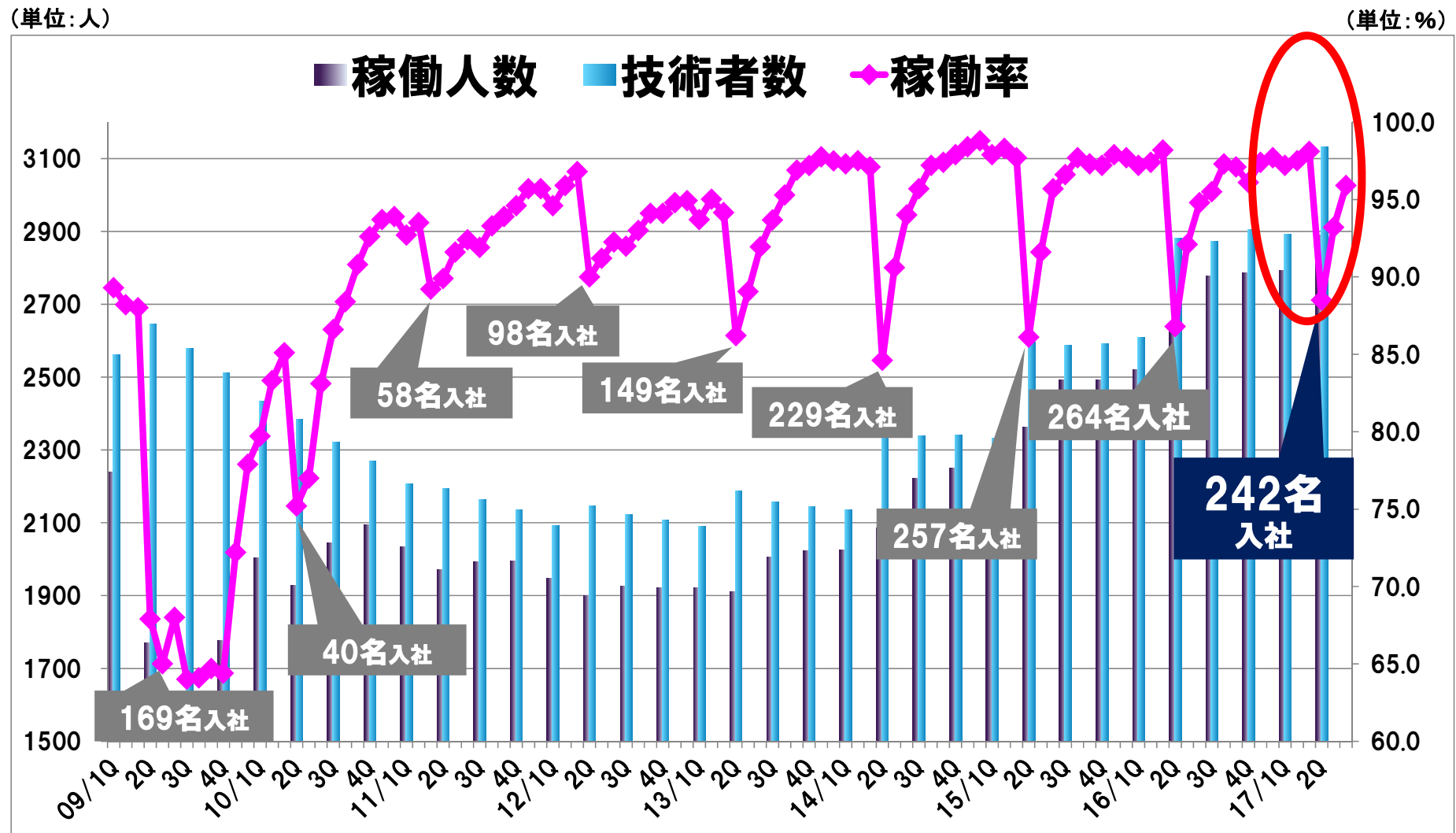
稼働工数 ※2017年度 上期平均



契約単価 ※2017年6月末時点



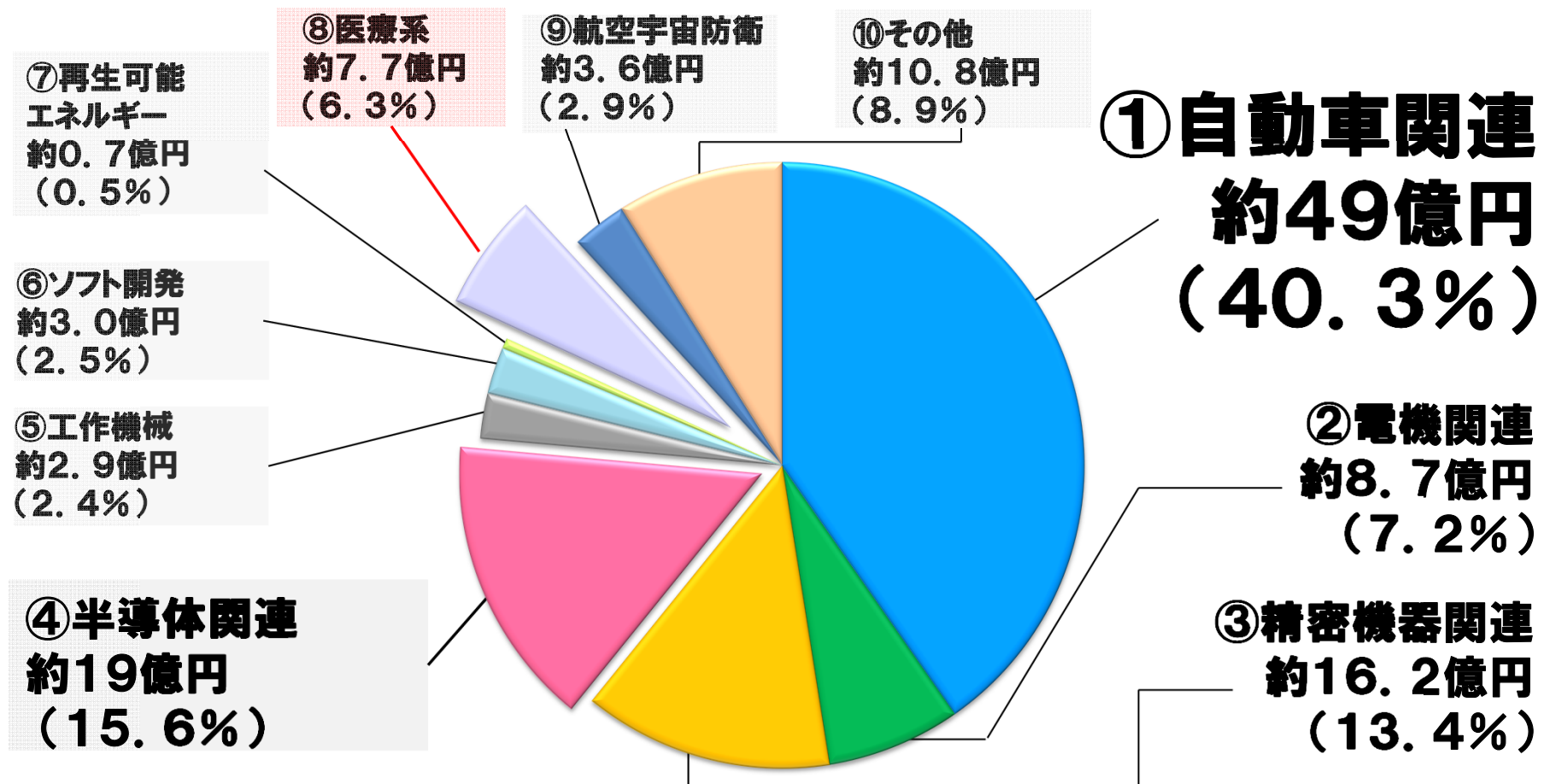
新卒早期稼働を達成し高稼働率維持



※①「稼働人数」…四半期毎の稼働人数(人) ②「技術者数」…四半期毎の技術者総数(人) ③「稼働率」…月当たりの新卒を含む全社稼働率(%)
 グラフ内入社者数…4月入社の新卒技術者数(キャリア採用・秋入社グローバルエンジニアは含まない)

- ・自動車関連の売上高は40%を維持
- ・半導体関連は旺盛な需要

業種別売上高 (2017年 第2四半期)



- ・ 上位比率が更に下がり顧客数拡大
- ・ 自動車、半導体関連の需要が堅調

売上上位10社

2015年度 通期	2016年度 通期	2017年度 第2四半期
デンソーテクノ	東芝	三菱電機
東芝	三菱電機	東芝
キヤノン	キヤノン	キヤノン
三菱電機	デンソーテクノ	ソニーセミコンダクタ
日野自動車	ソニーセミコンダクタ	アイシン・エイ・ダブリュ
ソニーセミコンダクタ	日野自動車	日野自動車
ソニーLSIデザイン	ソニーLSIデザイン	東芝メモリ
日立オートモティブシステムズ	三菱重工業	三菱重工業
日立アプライアンス	富士通テン	デンソーテクノ
アイシン精機	アイシン・エイ・ダブリュ	東京エレクトロン山梨
上位10社比率 23.4%	上位10社比率 22.7%	上位10社比率 19.8%



■2017年度 挑戦の施策(個別)

1. 挑戦の採用

達成目標

- ① 全社協力採用体制の定着
- ② 顧客ニーズに合わせたキャリア採用
- ③ グローバルエンジニア採用拡大

- ・ 新卒250名採用
※2018年入社目標
- ・ キャリア120名採用
※2017年入社目標

2. 挑戦の教育

- ① 事業部と連携し資格受験率向上
- ② 技術者同志が切磋琢磨する環境
- ③ キャリアパスに関する研修機会の充実

- ・ 資格受験率の向上
- ・ 社内認定講師の増加
- ・ 長期キャリア形成の促進

3. 挑戦の営業

- ① 新卒稼働決定の前倒し
- ② 新卒営業の年間サイクル確立
- ③ キャリアターゲットローテーションの促進

- ・ 稼働決定 早期化
- ・ 早期稼働サイクル
- ・ 実単価 4 千円視野

■2017年度 通期施策(グループ)

ブランドを確立し
企業規模の拡大へ

グループ成長を加速し
グローバル企業グループへ

国内事業

アルプスビジネスサービス
グループ 協働強化
事業拡大・社員育成

パナ R & D
シナジー追求し
採用・営業連携

チ
ー
ム
ア
ル
プ
ス

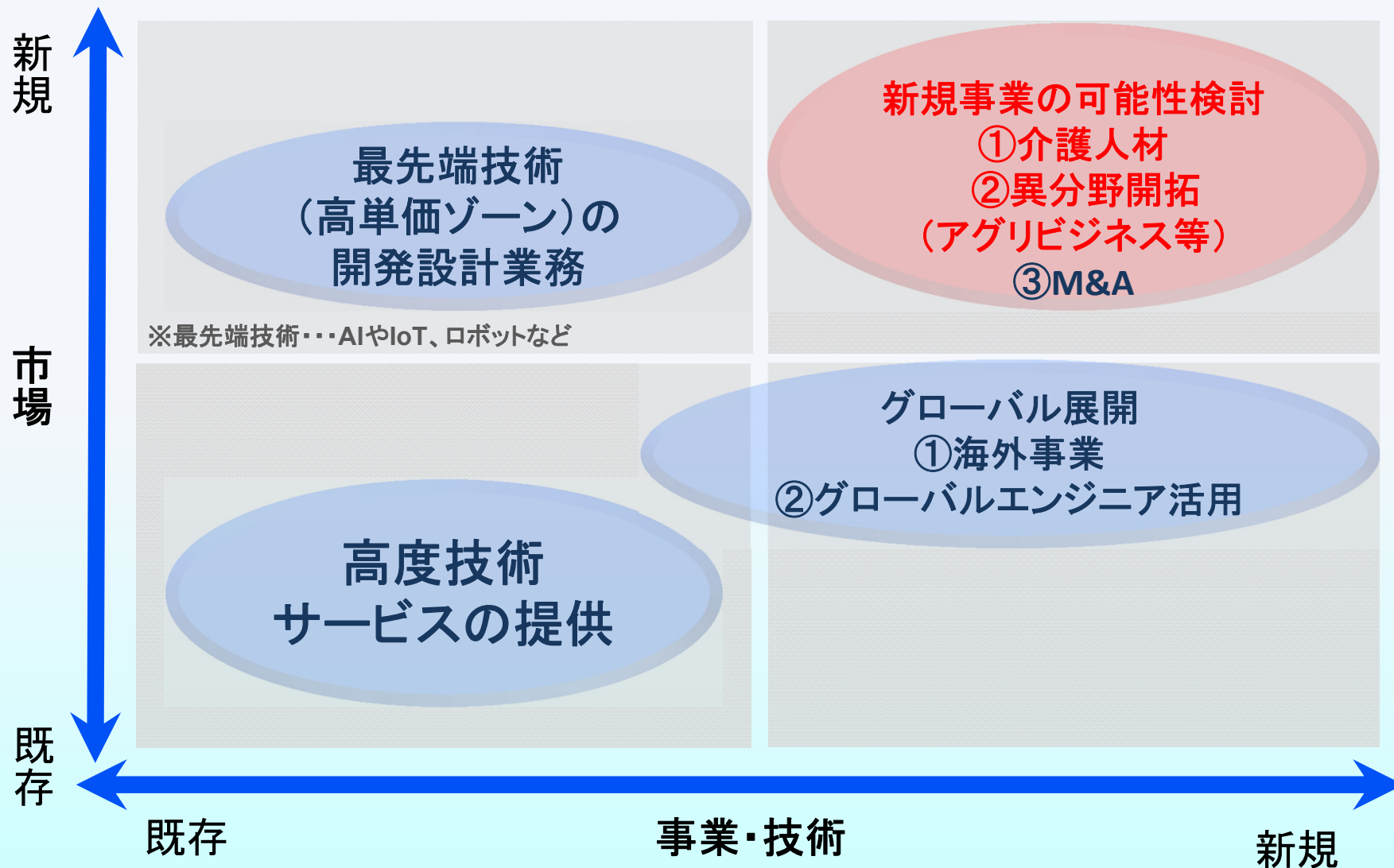
海外事業

台湾・上海・ミャンマー
事業規模拡大
介護 本格始動

日本国内のグローバル人材受入
グローバルエンジニア
採用拡大・定着UP

■ 中長期成長ビジョン

既存事業の強化・新規事業への挑戦



■ 企業ブランディング始動

学生・社員向けにブランディングを強化し、広告等で訴求

ひと、技術、顧客—いつの時代にも
いくつもの
「一流」に
会える。

人が未来—Next Technology Frontier®
Alps
株式会社 アルプス技研

人が未来—Next Technology Frontier®
Alps
株式会社 アルプス技研

人が未来—Next Technology Frontier®
Alps
株式会社 アルプス技研

● 初のTVCM/ラジオCMを4月～放送中。広告宣伝費は抑制しつつ、効果の拡大を図る。

■ 連結業績予想

増収・増益

期初予想比 下振れるも通期目標達成へ

(単位：百万円)

【連結】	実績					業績予想	
	16年通期	2017年度上期				2017年度通期	
	実績	期初予想 (17年2月公表)	実績	前年同期比	期初予想比	金額	前年同期比
売上高	26,743	14,260	14,516	17.8%	1.8%	29,000	8.4%
営業利益	2,857	1,420	1,433	14.2%	0.9%	3,070	7.5%
経常利益	2,949	1,470	1,438	10.2%	-2.2%	3,170	7.5%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,988	1,010	907	10.9%	-10.2%	2,130	7.1%

■ 個別業績予想

増収・増益

好調に推移/働き方改革の影響を想定

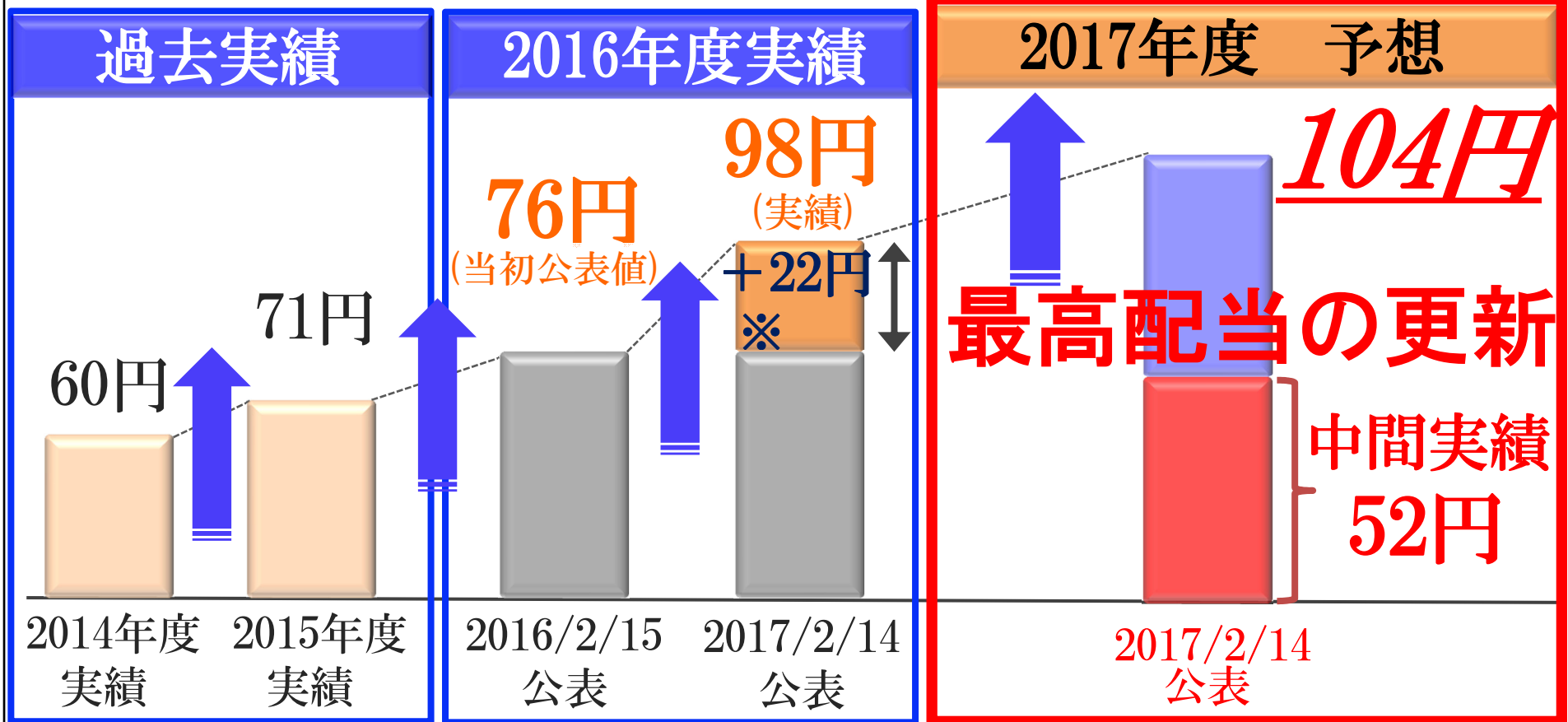
(単位：百万円)

【個別】	実績					業績予想	
	16年通期	2017年度上期				2017年度通期	
	実績	期初予想 (17年2月公表)	実績	前年同期比	期初予想比	金額	前年同期比
売上高	22,600	11,850	12,157	10.9%	2.6%	24,030	6.3%
営業利益	2,507	1,250	1,324	13.1%	5.9%	2,660	6.1%
経常利益	2,670	1,360	1,481	15.6%	8.9%	2,830	6.0%
四半期純利益	1,758	940	1,013	24.1%	7.8%	1,930	9.8%

■ 配当予想 (2017年度年間配当金)

【配当の基本方針】

- ・ 連結ベースでの配当性向50%を基本とする
- ・ 中間配当金は年間配当金の50%を目処とする
- ・ 業績にかかわらず年間配当20円を維持する (安定配当の見地)

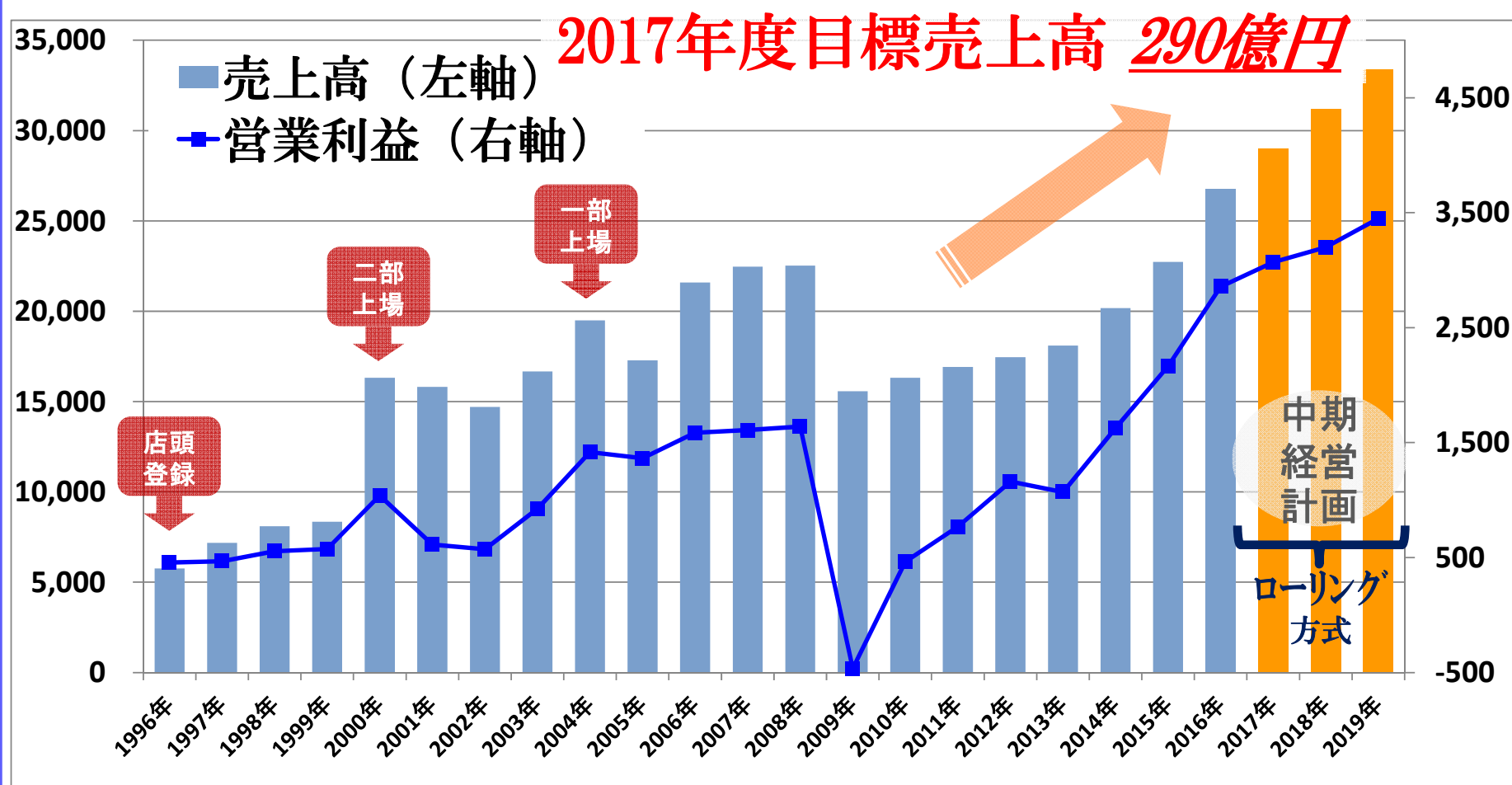


※2016年度実績・・・2016年公表値に22円上乘せ

業績推移

増収・増益

創業50周年(2018年)に向け更なる成長



【備考】 ①1996年～1999年は個別業績 ②2000年以降は連結業績

単位：百万円

■ 中期経営計画 16年公表比

2018年(創業50周年)売上高300億円突破目標
17年予想売上高は前年発表比+7.4%で発進

2016年度中計 計画—実績比

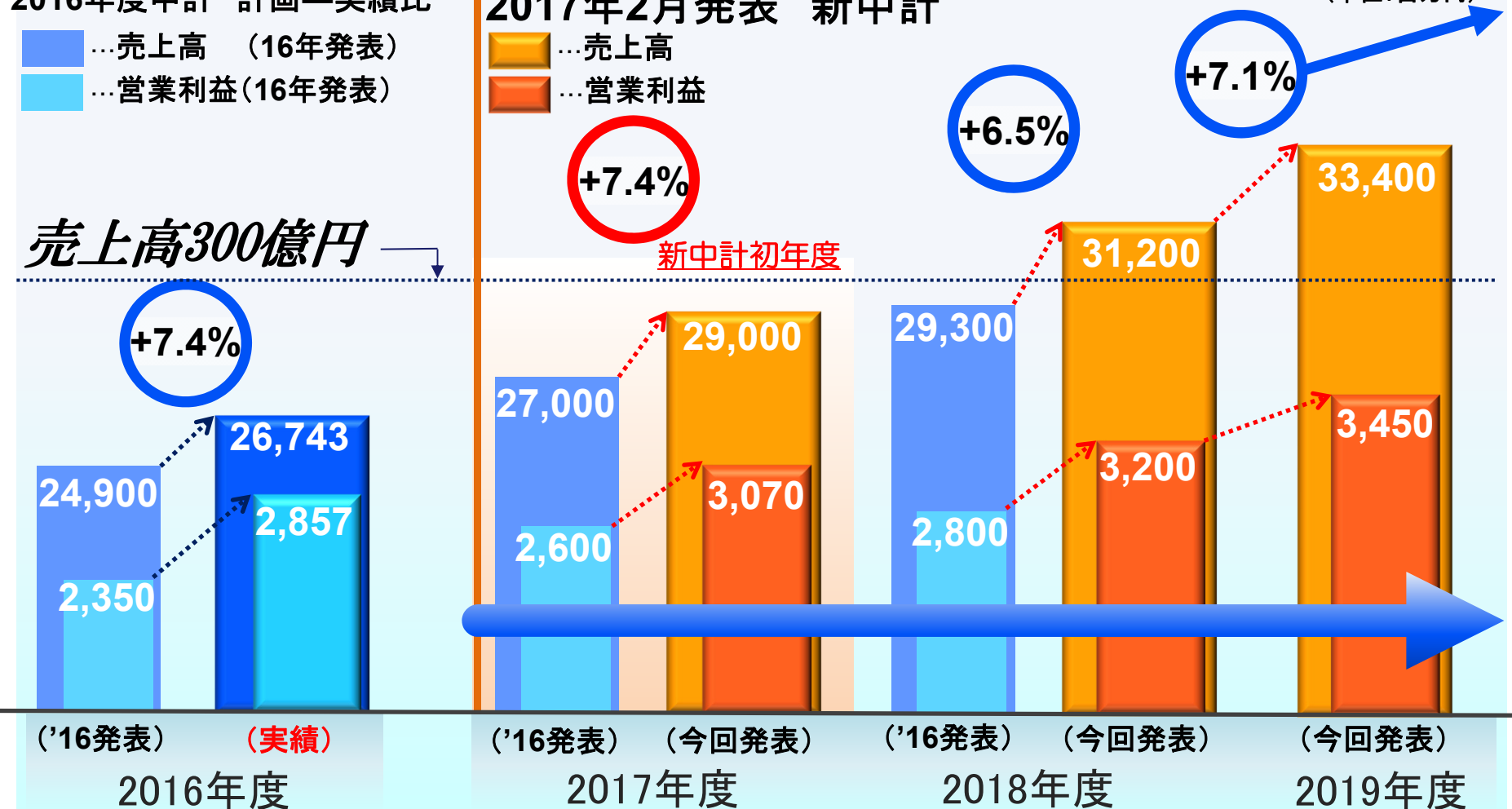
■ ...売上高 (16年発表)
■ ...営業利益(16年発表)

売上高300億円

2017年2月発表 新中計

■ ...売上高
■ ...営業利益

(単位:百万円)



■ 中期経営計画 (連結・定量目標)

第10次5カ年計画 (2018年までにありたい姿)

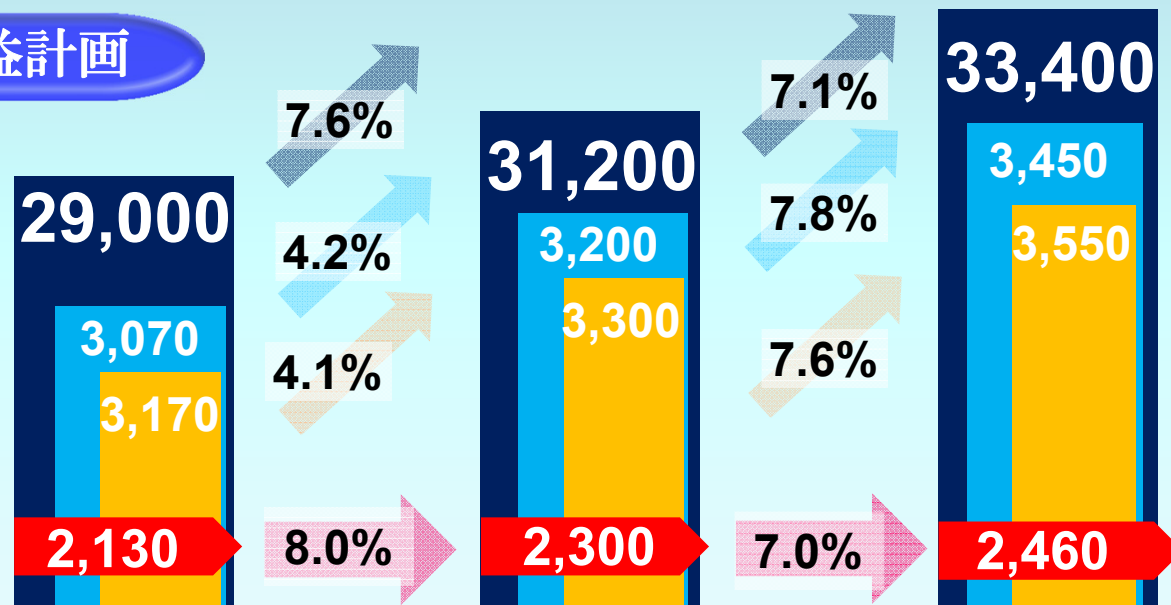
イノベーションによる企業規模の拡大
～創業50周年に向けた成長の加速～

3カ年毎のローリングプランを策定⇒持続的なイノベーション

売上高・利益計画

(単位: 百万円)

- ...売上高
- ...営業利益
- ...経常利益
- ...親会社株主に帰属する当期純利益



...ROE

18%以上
2017年度
(予想)

18%以上
2018年度
(計画)

18%以上
2019年度
(計画)

■ 中期経営計画 (連結)

各施策と主な内容

1

技術、産業の
変化を先取りし、
高度で多様な
技術サービスを提供

■内容

- ①営業・採用・教育の
仕組みの変革
- ②チーム化・請負化の推進
- ③顧客満足度の向上
- ④高度技術者集団としての
ブランド確立

2

関係会社の自立、
成長により、
当社グループの
規模拡大を加速

■内容

- ①関係会社の独自性と
収益性の発揮
- ②潮流を捉えた新規事業
の創出
- ③グループ拡大による
社会貢献への寄与

3

アジアに展開
するグローバル
企業グループへ
の躍進

■内容

- ①事業基盤強化と
事業分野の拡大
- ②東南アジアにおける
ネットワーク活用
- ③グローバルな
アウトソーシング
サービスの提供

創業50周年のその先ー ～第2創業期に向けて～

アルプス技研は、1968年に
設計事務所として創業し、
2018年7月1日にお陰様で
創業50周年を迎えます。



おかげさまで50周年
Since 1968

<創業50周年ロゴ>

幾多の壁を乗り越え成長

アルプス技研は、引き続き積極的に株主還元の充実を図ってまいります。

【免責事項】

本資料に記載されている業績予想、将来予測等は、作成時点において入手可能な情報に基づく見通しであり、潜在的风险や不確実性が内在しています。実際の業績は、経営環境や様々な要因の変化によって記述内容と大きく異なる可能性があります。

